

## 校長室から 保護者版 文責 校長 堀富雄

### **西播大会終了、陸上競技部、女子バレーボール部、水泳、県大会出場！**

西播大会が開催されました。どの部活動も粘り強い試合を見せてくださいました。「いい試合でした。選手たちの姿に感動しました。素晴らしいかったです。」などの声を各会場で大会関係者の方々から聞くことができました。皆さんの姿は清々しく、壮行会で各部のキャプテンが誓ってくれたとおり、感謝の気持ちとスポーツmanshipに溢れていました。どうか胸を張って、次のステージへ進んで下さい。保護者の皆様、多くのご支援をいただき誠に有難うございました。

県大会に出場する陸上競技部 13名（26日 27日 加古川市）、女子バレーボール部 9名（27日 28日 洲本市）水泳 1名（25日 26日 神戸市）は実力を発揮し、個人、チームそれぞれの目標を達成してくれることを期待します。

#### **西播大会結果および入賞**

- ☆ ソフトボール部 2-14 龍野東中 惜敗
- ☆ 女子バレーボール部 予選 2-0 那波中 2-1 上月中  
決勝リーグ 0-2 龍野東中 2-0 山崎東中  
2-0 太子西中 **準優勝 県大会出場**



- ☆ 女子ソフトテニス部 個人 秋山七那美・合田佳那ペア 2回戦 惜敗  
○ 瀧本千宝・堀心愛ペア ベスト16 惜敗  
団体 1回戦 ②-1 上津中  
2回戦 0-③那波中 惜敗



- ☆ 男子ソフトテニス部 個人 横山眞大・西村奏駆ペア 2回戦 惜敗

- ☆ 陸上競技部 男女総合 **優勝** 男子総合 **優勝**

2年生 男子 100m	<b>第1位</b> 福井裕月
2年生 女子 100m	<b>第2位</b> 日高美夕
共通 男子 200m	<b>第1位</b> 福井裕月
共通 男子 110mH	<b>第1位</b> 山田太陽
共通 男子 800m	<b>第1位</b> 三坂真嗣
共通 男子 1500m	<b>第1位</b> 江見楨人 <b>第2位</b> 三坂真嗣
共通 男子 3000m	<b>第1位</b> 江見楨人
共通 女子走幅跳	<b>第3位</b> 木村恋彩
共通 女子走高跳	<b>第1位</b> 尾ノ井柚姫
共通 男子砲丸投	<b>第3位</b> 井上 新
共通 女子四種競技	<b>第3位</b> 秦 夕乃



- 低学年 男子4×100mR **第1位** 山田太陽 山本翔太 堀咲久哉 福井裕月
- ☆ 水泳 平山喜大 400m自由形 **第1位** 1500m自由形 **第1位**



## 読書のすすめ

この夏休み、読書に挑戦しましょう。作家の瀧澤 中さんがこんな話をされていました。森繁久彌（もりしげひさや）さんという俳優がいました。彼は、こんなことを息子に質問しました。「広場でたくさん人がいたとする。そこにお前がまぎれ込んで、どちらの方向が空いているのか、自分が行きたい方向がわからない。こんな時、お前ならどうする？」息子は「皆の行く方向について行く。」と答えます。森繁さんはこう返します。「いいか、もし、そこにみかん箱が一つあったとして、それに乗れば頭一つ出るだろう。すると周囲がよく見えるな。どの方向が混んでいて、どっちが空いているか、行くべき方向がよく見える。そのみかん箱が『知識』というものだ。知識があれば行くべき方向が見える…。

よく、「広い視野を持ちなさい」と言われることがありますね。「広い視野」を持つには少しだけ高いところから見渡せばいい。箱ひとつ分高い場所からものごとを見れば視野は広がり、進むべき道が見えてくるのです。その箱が知識です。

では、知識はどうやって得ればよいのでしょうか。

最も簡単で、時間も場所にも縛られない方法が読書です。なぜ、読書がいいのか。まず、行ったことのない場所に行くことができます。「アマゾン河の水がひくと、場所によってはあちこちに沼の残るところがあります。こういう沼やアニンガ（水草）の生えたところをシャベルで掘り起こすと、泥の中から30～50センチくらいの大きさの化石のようなよろいを着た魚がたくさん獲れる。化石にしては動くので気味が悪い。」（『アマゾン河』神田鍊蔵）他にも、馬をのみこむ蛇の話や、船を走らせているだけで、魚が船に飛び込んでくる話などが書かれています。もちろん実話。アマゾンで7年間過ごした日本人医師が書いています。この本はとても読みやすいので、チャレンジしてみてはどうでしょうか。

それから、読書は会ったことのない人に、会えます。織田信長は対談するとき、だらだらした前置きを嫌い、身分の低い人とも親しく話をした。「誰であろうと、武器を持って信長の前に出ることは許されなかった。」「豊臣秀吉は優秀な騎士であり、戦いに熟練していたが、気品に欠けていた。」（『完訳フロイス日本史』より一部意訳） 戦国時代、日本にやって来た宣教師が、実際に見聞きした織田信長や豊臣秀吉の様子です。行ったことのない場所に行き、会ったことない過去の人に会い、未来にも行くことができる。これが読書です。そして、こういう読書を通して、知識を得ます。

どうですか？わくわくしませんか？さらに、活字の本は知識取得以外にも効果があります。それは、想像力を持つこと。ということです。川端康成の小説「伊豆の踊子」。ヒロインの踊子の名前は、薰（かおる）。もし、ドラマや映画なら、薰は美しい女優が演じますから、役者さんのイメージになります。漫画やアニメでも、そうですね。でも、活字の本なら、あなただけの薰を想像できる。あなただけの主人公（学生）を想像できる。活字の本は、人物や風景を自由に想像することができます。これは、あなただけが見ることのできるものなのです。さらに、あなただけの情景の中で、なぜ薰は主人公に好意を寄せたのか、主人公は薰のどんなところを好きになったのか、その切ない気持ちを感じることができます。

歴史小説を読んでいると、想像力が欠けたために失敗をおかすことがとても多いのに気がつきます。もしかすることをすれば相手はどう思うのか。その結果どんなことが起きるのか。相手の気持ちをろくに考えもせず、相手の実力を小さくみて大失敗してしまうのです。

逆にエジソンの様に想像力があったから素晴らしいものを発明できたり、人の気持ちがわかるから人に優しくてきて、仲間がたくさん集まり、歴史を動かした人も多いです。

読書によって正しい知識と豊かな想像力を得れば、人生は本当に豊かになります。